

同志社国文学

第 99 号

『むぐらの宿』における「そらじに」の機能について……釜丸 祥(1)

『源氏小鏡』の形容詞表現に見る『源氏物語』受容……酒瀬川な おみ(14)
——伝持明院基春筆本の分析——

楽亭西馬作『岸柳四魔談』と馬琴草双紙……三宅宏幸(31)

逸脱の連鎖……横山千華子(44)
——岡本かの子「老妓抄」論——

〈実践報告〉大学入試小説指導の詩学……高山卓(58)
——中島敦「山月記」を例に——

2023・12

同志社大学国文学会